



## SMFL キャピタル株式会社 企業概要

### 会社概要

弊社は2016年4月1日に三井住友ファイナンス&リース株式会社(略称「SMFL」)グループに加わりましたが、2016年9月5日より「日本GE合同会社」から株式会社に組織変更し、商号を「SMFLキャピタル株式会社」に変更致しました。

今後、SMFLキャピタル株式会社は、三井住友ファイナンス&リース株式会社と相互のノウハウやリソースを共有し、シナジーを追求していくことで、より一層、お客様のニーズにお応えしてまいります。

また、これまでGE傘下で培ってきたITを活用した効率的なデータマーケティング・営業手法、先進的な自動審査システム、高度なコンサルティング営業等をさらに強化し、より一層の成長を目指してまいります。

### 従業員数

約1,100名

### 本社所在地

東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

### URL

<https://www.smflc.co.jp/>

### 今回の導入製品

- Ivanti Endpoint Manager
- Ivanti Endpoint Security for Endpoint Manager
- Ivanti Data Analytics



情報テクノロジー本部  
ITアーキテクチャ&インフラストラクチャ部  
クライアントサービスチーム  
サービスデリバリーマネージャ  
出崎 秀樹 氏

## Ivantiのソリューション導入により、Windows環境のアップデートやソフトウェアのパッチ配布、新しい導入ソフトウェアの配信などを実現。

## またソフトウェアライセンスの一元管理によるコンプライアンス強化やコスト削減にも期待

### 導入背景

＞SMFLグループへの合流に伴い、インフラ監視やITILに関わるツールなどを切り替える必要がありクライアント管理とサーバ管理ツールの新規導入も必要になった

### 検討のポイント(選択の理由)

- ＞クライアント管理をはじめ、パッチの適用やサードパーティのソフトウェアのバージョン管理が効率的に行え、配布の機能が充実していた
- ＞Windowsパッチの管理にWSUS (Windows Server Update Services) 連携の製品ではなく、独自でパッチ管理の機能がありWSUSより配布状況の管理することが可能で1台のサーバで管理することが可能になった

### 導入の概要

- ＞エージェントの展開方法は様々な方法があるが、セキュリティポリシーの影響でリモートインストールはできず、ユーザにインストールパッチを実行してもらうことで、実ユーザ数1,500人弱・2,000台近いPCすべてへの展開を1ヶ月ほどで完了
- ＞同様にツールを切り替える他プロジェクトにおいても、ソフトウェアのインストールをIvantiで行うことで他のソフトウェア導入にも大きく貢献

### 導入効果

- ＞Windows環境のアップデートやソフトウェアのパッチ配布、新しく導入ソフトウェアの配信、サーバのソフトウェア管理などがスムーズに行えるようになった
- ＞リモート管理機能が充実していたためサービスデスクスタッフによるユーザサポートの質の向上と負担軽減を実現
- ＞すべてのソフトウェアのライセンスを一元管理することにより、コンプライアンス強化やコスト削減の効果にも期待

## ユーザ数1,500人弱、2,000台近いPCのアップデートやパッチ配布を効率化 ユーザとサポートデスクの負担を軽減

米国GEから三井住友ファイナンス&リース株式会社(略称SMFL)グループに加わったことに伴い、2016年9月に社名変更したSMFLキャピタル株式会社様。

同社では、一部GE系からSMFLグループ系の運用管理体制へと移行するのに対し、インフラ監視やITILに関わるツールなど全てを切り替える必要がありました。その1つが、クライアント管理とサーバ管理のツールだったのです。

「当時の段階でIvantiのソリューションは機能が豊富でしたが、我々が特に重視したのがクライアントの管理をはじめとした、パッチの適用やサードパーティのソフトウェアのバージョンの管理にまつわる機能でした。Ivantiの方から話を聞くにつれ、同社のソリューションはこれらの機能が充実していることがわかりました。

また他社製品のほとんどがWindowsの管理にWSUS (Windows Server Update Services) を必要としているのに対し、Ivantiのソリューションはネイティブに近いレベルで管理できるため、これ一本で行けると判断しました」。情報テクノロジー本部ITアーキテクチャ&インフラストラクチャ部クライアントサービスチーム サービスデリバリマネージャの出崎 秀樹氏は選定時をこう振り返ります。

### Ivantiのソリューションが他ツールの導入プロジェクトにも大きく貢献

Ivantiのソリューションの本格的な導入プロジェクトが始動したのは夏頃で、約50にも及ぶ各種導入プロジェクトの中の1つに位置づけられました。導入プロジェクトのリーダーを出崎氏が務め、クライアント管理担当者とサーバ管理担当者、さらにセキュリティ担当者などでプロジェクトチームを構成しました。

翌年の春先にテストを開始し、その後2、3ヶ月で一気に展開することに成功しました。

また導入プロジェクトの段階で既にIvantiのソリューションは他プロジェクトのスムーズな推進にも大きく貢献することになりました。

「PCにインストールするセキュリティソフトやSkype for Business、当初想定外のパッチ配布などを、Ivantiを入れてしまえば一気に進めることができたので、その後の各プロジェクトの展開が楽になりました。導入前は、ADのグループポリシーやログインスクリプトを使用していたが、配布準備から配布に関わる工数が50%以上削減することができました。」 (出崎氏)

Ivantiのソリューションの展開自体は、ユーザにパッチを配布して起動してもらう方法を採用した結果、実ユーザ数1,500人弱・2,000台近いPCすべてへの展開がわずか1ヶ月ほどで完了することができました。

### コンプラ強化やコスト削減の効果も

SMFLキャピタル株式会社様では現在Ivantiのソリューションを本格稼働し、主にWindows環境のアップデートやソフトウェアのパッチ配布、さらに新しい導入ソフトウェアの配信、サーバのソフトウェア管理などに活用しています。

また同社のサービスデスクにはIvantiをメインで扱うチームが置かれていますが、ユーザから「PCが動かない」などの問い合わせがあった際には、すぐにコンソールから最新の状況を見ることができるようになりました。

「従来はユーザのPCにリモートで入って見なければならず、ユーザにもサービスデスクスタッフにも大きな負荷となっていました。それが今では管理コンソール上に細かい情報が蓄積されているので、ユーザにPCを使用し続けてもらいながら細かい調査ができるようになり、ユーザサポートのかたちが変わりましたね。」 (出崎氏)

さらに、すべてのソフトウェアのライセンスを一元管理できるようになったことで、コンプライアンスの強化やコスト削減といった効果も期待できます。

「近いうちに取り組みねばならないWindows10への対応もIvantiのおかげでスムーズに進むと考えています。とにかく1つ1つの機能がパワフルなので、ユーザ会のナレッジを共有するなどして情報収集に努めつつ、将来的にはIvantiのソリューションの強みの1つである自動管理の機能も積極的に活用していきたいですね」

——出崎氏は、Ivantiの活用により既存の業務のもう一歩先の領域へと踏み出すことへの期待を述べています。



### SMFLキャピタル社でのデジタル活用に向けた取り組みについて

これまで米国GE傘下でグローバル企業の一員として培ってきた経験・ノウハウ・ベストプラクティスをさらに進化させ、お客様・パートナー様向けにAIを活用した最先端のデジタルツールやMore Than Financeプログラムなど、SMFLキャピタル独自の「金融の枠を超えたソリューション」を提供しています。

また同社内に設置されている「Digital Lab.(デジタル・ラボ)」。こちらの一室では、顔認証などを始めとした最新のテクノロジーに実際に触れることができます。

# ivanti

Ivanti Software 株式会社

TEL : 03-6432-4180

FAX : 03-6432-4181

e-mail : [contact@ivanti.co.jp](mailto:contact@ivanti.co.jp)

URL : [www.ivanti.co.jp](http://www.ivanti.co.jp)